

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校					2026年度 シラバス				
科目名 (英)	ライブパフォーマンスⅢ			必修 選択	必修	年次	3	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科			授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース					(単位)		曜日・時限	木曜・5.6限
【授業の学習内容】									
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 *実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」 BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、 2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、 2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップソング・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)									
【到達目標】									
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。									
授業計画・内容									
1回目	個人目標設定を行う								
2回目	ボディマップを正確に理解する								
3回目	筋感覚を意識することで包括的認識力を知る								
4回目	歌唱時の正しい口の形を知る								
5回目	正しい口の形を意識した歌唱が出来る								
6回目	振り付けに合わせて、正しい口の形を意識した歌唱が出来る								
7回目	歌唱前のストレッチから正しい体の使い方のアプローチ方法を知る。								
8回目	AO関節のバランスを取れるようになる(首の無駄な緊張をなくす)								
9回目	腰椎と胸郭のバランス、股関節のバランスを理解する								
10回目	ブレスとリズムの関係性を知る								
11回目	振り付け、構成付き歌唱パフォーマンスを行うことができる								
12回目	試験								
13回目	試験総括（改善点を知る）								
準備学習 時間外学習	パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること 歌詞をノートに書いて持って来ること 踊りやすい服装でスニーカーを持ってくる								
評価方法	・課題成果「出席・授業態度」： 40%・実技試験：60%			評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！								
【使用教科書・教材・参考書】									
iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー									

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校					2026年度 シラバス				
科目名 (英)	ライブパフォーマンスⅢ			必修 選択	必修	年次	3	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科			授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース					(単位)		曜日・時限	木曜・5.6限
【授業の学習内容】									
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 *実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、 2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、 2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップソング・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)									
【到達目標】									
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。									
授業計画・内容									
1回目	共鳴の仕組み、効果を知る								
2回目	鼻腔共鳴が出来るようになる								
3回目	頭部共鳴(ヘッドボイス)が出来るようになる								
4回目	ヴォイスポジションを理解しながら歌唱が出来る								
5回目	ヴォイスポジションを理解しながら、振り付けに合わせて歌唱が出来る								
6回目	膝関節と足関節のバランスと体重が伝わる道筋を理解する								
7回目	腕構造を理解しプレスを改善することで豊かな表現力を習得する								
8回目	胸部共鳴が出来るようになる								
9回目	ビブラートの仕組み、練習法を知る								
10回目	フェイクの仕組み、練習法を知る								
11回目	振り付け、構成付き歌唱パフォーマンスを行うことができる								
12回目	試験								
13回目	試験総括(改善点を知る)								
準備学習 時間外学習	パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること 歌詞をノートに書いて持って来ること 踊りやすい服装でスニーカーを持ってくる								
評価方法	・課題成果「出席・授業態度」: 40%・実技試験: 60%			評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう!								
【使用教科書・教材・参考書】									
iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー									

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	テクニック強化	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	福井 あゆみ
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	ダンスエンターテイメント本科・ダンスプロフェッショナル					曜日・時限	金曜・1限
【授業の学習内容】							
基礎を見直し、基礎からテクニックに繋げていく。ストレッチや筋トレを通してテクニックに繋げていく。							
【到達目標】							
どんなジャンルでも踊りこなせる様、授業での気付きを活かしてアップデートをしていくことを目標にします。							

授業計画・内容			
1回目	自己紹介、授業内容説明、柔軟性・筋力・基礎力・テクニック等のチェック		
2回目	ストレッチ&筋トレ、プリエ、タンジュ、ソッテ、コンビネーション		
3回目	ストレッチ&筋トレ、アラベスク、グランバッドマン、シェネ、ピケ、コンビネーション		
4回目	ストレッチ&筋トレ、ピルエット、アクセルターン、コンビネーション		
5回目	ストレッチ&筋トレ、ジュッテアントルラッセ、グランパディシャ、コンビネーション		
6回目	ストレッチ&筋トレ、シャッセアントルナン、ソッテアラベスク、コンビネーション		
7回目	ストレッチ&筋トレ、リフト練習、コンビネーション		
8回目	2回目授業の復習		
9回目	3回目授業の復習		
10回目	4回目授業の復習		
11回目	5回目授業の復習		
12回目	6回目授業の復習		
13回目	7回目授業の復習		
準備学習 時間外学習	ストレッチ & トレ ーニング		
評価方法	授業の取り組み方50% 出席率 50%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	り組みや 到達点、
受講生への メッセージ	自分の癖を見直し、基礎を今一度大切に、必要とされるダンサーを目指してってください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
ジャズシューズ・動きやすい服装（身体のラインが出来るだけわかりやすい服装が好ましい） ・ヨガブロック・タオル・ハット(コンビネーションを行う時に使う時もあります)			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	アクション応用	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻					曜日・時限	火曜日3,4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 表現者としてに必要なボディバランス・基礎体力の習得を目指し、怪我をしない為の筋力や柔軟性を身につける。 基本的なマット運動でボディバランスを習得し、殺陣では、刀の所作や間合い、刀の扱いを理解し、立ち回れるようになる。 ※実務者経験：哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテイメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な刀の振り方や所作を理解している。 目標①怪我をしたりさせたりしない刀の扱い・間合いを理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③殺陣だけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							
授業計画・内容							
1回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う①(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(刀の名称・刀の持ち方・基本の型)						
2回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う②(1年次より高負荷なトレーニング)○マット(前転・分解前転・後転)○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足)						
3回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う③(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・無対象での刀の振り方の実践)						
4回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う④ - I (1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・移動しながらの刀の振り方の実践)						
5回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う④ - II (1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・移動しながらの刀の振り方の実践)						
6回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑤ - I (1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立)○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・複数人数で移動しながらの刀の振り方の実践)						
7回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑤ - II (1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・複数人数で移動しながらの刀の振り方の実践)						
8回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥ - I (1年次より高負荷なトレーニング)○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転)○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
9回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥ - II (1年次より高負荷なトレーニング)○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転)○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
10回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥ - III(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
11回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥ - IV(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
12回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥ - V(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート)○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
13回目	○アップ・筋力トレーニング・ストレッチの習得を行う⑥ - VII(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・握り足・1対1での移動演習)						
14回目	前期振り返しを行い、実技テストに向けての対策を行う						
15回目	実技テストを行う						
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が重要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋力トレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。						
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)						
受講生への メッセージ	1年次に身につけた物をボディバランスをベースに素手ではなく刀を使用した授業になります。 マット運動は全身運動になりますのでボディバランス・筋力が必要となります。 ちょっとしたことで怪我の可能性が高い為、より集中力を必要としますので体調管理をしっかりと行いましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】 通年：動きやすい服装・木刀・ベルト							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

2026年度 シラバス

科目名 (英)	アクション応用	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻					曜日・時限	火曜日3,4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 表現者としてに必要なボディバランス・基礎体力の習得を旨とし、怪我をしない為の筋力や柔軟性を身につける。 基本的なマット運動でボディバランスを習得し、殺陣では、刀の所作や間合い、刀の扱いを理解し、立ち回れるようになる。 ※実務者経験：哀川日出舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルペ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な刀の振り方や所作を理解している。 目標①怪我をしたりさせたりしない刀の扱い・間合いを理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③殺陣だけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う① ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
2回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う② ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
3回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う③ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
4回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う④ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
5回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑤ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
6回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑥○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング)○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き)○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対2での移動演習)
7回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑦ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
8回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑧ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
9回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑨ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
10回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑩ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
11回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑪ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
12回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑫ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
13回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑬ ○アップ・筋力トレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・振り足・1対3での移動演習)
14回目	後期振り返しを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋力トレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	1年次に身に付けた物をボディバランスをベースに素手ではなく刀を使用した授業になります。 マット運動は全身運動になりますのでボディバランス・筋力が必要となります。 ちょっとしたことで怪我の可能性が高い為、より集中力を必要としますので体調管理をしっかりと行いましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
通年：動きやすい服装・木刀・ベルト	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	兼田 めぐみ
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	月曜日5.6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。
※実務者経験：声優事務所所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。

【到達目標】
 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。
 目標①アフレコ技術の習得
 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する
 目標③プロの音を正しくコピーする

授業計画・内容	
1回目	今期目標設定、プロになるための意識作りの講義、基礎力チェック
2回目	(目標①) アフレコ演習: マイクワーク、口パクへの合わせ方などの技術面に集中する
3回目	(目標①) アフレコ演習: 前回と同じ題材で、表現をプラスする
4回目	(目標①) アフレコ演習: 技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる①
5回目	(目標①) アフレコ演習: 技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる②
6回目	(目標②) アフレコ演習: 色々な役を試して、人からの評価を聞く
7回目	(目標②) アフレコ演習: ここまでの実習を踏まえて、現在の自分のできること、できないことを確認
8回目	(目標②) アフレコ演習: 前回確認した弱点に意識を集中する①
9回目	(目標②) アフレコ演習: 前回確認した弱点に意識を集中する②
10回目	(目標③) アフレコ演習: コピーレッスン①として、まずは自分なりに表現する
11回目	(目標③) アフレコ演習: コピーレッスン②として、プロの音声をコピーし、再現し、先週との違いを確認する。
12回目	アフレコ演習: 前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す①
13回目	アフレコ演習: 前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す②
14回目	期末テスト: 模擬オーディションを行う
15回目	アフレコ演習: 皆さんにやりたい作品を選んでいただき思い切り表現を楽しむ
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試していろんな練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力 (30%) ●授業態度・出席率 (30%) ●表現力 (30%) ●期末テスト (10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思います。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	兼田 めぐみ
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	月曜日5.6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。 ※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。 吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
【到達目標】 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アフレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考えるアフレコ題材② 新たな題材でのアフレコ演習です。前期で行っていた題材とは求められることが全く違うので、その違いをどう表現すべきかを実践しながら掘んでいます。
2回目	戦闘シーンでのスピーディーなコマ割りやアドリブへの対応力を養う アフレコ題材② Aパートの本番を行っています。踏まえてBパートにも入っていきます。 難しい戦闘シーンなど動きやリアクションのアドリブに向き合っていきます。
3回目	実際の収録の流れを掴み、集中力を高める アフレコ題材② 実際のアフレコ収録の流れ、テスト、ディレクション、本番、別録り、ギャ録りを行います。長時間ブースの中で息を殺し、集中力を途切れさせない必要があるのそういった空気を感じて現場への意識を高めます。
4回目	線画でのパクの合わせ方や読み取り方の難しさを知る アフレコ題材③ 線画でのアフレコを行います。完パケした映像とは違い、シーンを読み取る力、台本を読み解く力がより必要となり、またボードに正確に合わせる感覚を掴んでいきます。
5回目	パクの合わせ方のコツを掴む アフレコ題材③ 長ゼリフなどがある際のパクのつかみ方。また本番として現場の流れで収録していきます。次週までの宿題についての説明を行います。
6回目	表現をコピーし再現する アフレコ題材④⑤ 前週に先渡しにした音声付きの映像をコピーしてきていただき、アフレコに臨んでいただきます。男女それぞれに違った課題があるので、それぞれの与えられた役に集中してプロの技を盗むことにより、表現の引き出す方法、音と向き合う方法を知っていく。
7回目	コピーと表現により自分の可能性を広げていくアフレコ題材④⑤ また違った役について研究し、コピーしてより音や表現の幅を増やしていきます。
8回目	繊細な表現をつかむ アフレコ題材⑥ 非常に繊細な感情が求められる作品に入っていきます。 心を大きく動かしながらもパクに合わせる難しさを体感していきます。一つ一つの音の繊細さにもこだわっていきます
9回目	繊細な表現をつかむ① アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
10回目	繊細な表現をつかむ② アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
11回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく① アフレコ題材⑥ Bパートに入っていき、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
12回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく② アフレコ題材⑥ Bパートに入っていき、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
13回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ① アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居することが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
14回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ② アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居することが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
15回目	後期試験 アフレコ授業の集大成としての試験を行い、今後の進路相談などもおこなっていきます。
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているんな練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力 (30%) ●授業態度・出席率 (30%) ●表現力 (30%) ●期末テスト (10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思います。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	兼田 めぐみ
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	火曜日1.2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。
※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。

【到達目標】
 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。
 目標①アフレコ技術の習得
 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する
 目標③プロの音を正しくコピーする

授業計画・内容	
1回目	今期目標設定、プロになるための意識作りの講義、基礎力チェック
2回目	(目標①) アフレコ演習: マイクワーク、口パクへの合わせ方などの技術面に集中する
3回目	(目標①) アフレコ演習: 前回と同じ題材で、表現をプラスする
4回目	(目標①) アフレコ演習: 技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる①
5回目	(目標①) アフレコ演習: 技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる②
6回目	(目標②) アフレコ演習: 色々な役を試して、人からの評価を聞く
7回目	(目標②) アフレコ演習: ここまでの実習を踏まえて、現在の自分のできること、できないことを確認
8回目	(目標②) アフレコ演習: 前回確認した弱点に意識を集中する①
9回目	(目標②) アフレコ演習: 前回確認した弱点に意識を集中する②
10回目	(目標③) アフレコ演習: コピーレッスン①として、まずは自分なりに表現する
11回目	(目標③) アフレコ演習: コピーレッスン②として、プロの音声をコピーし、再現し、先週との違いを確認する。
12回目	アフレコ演習: 前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す①
13回目	アフレコ演習: 前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す②
14回目	期末テスト: 模擬オーディションを行う
15回目	アフレコ演習: 皆さんにやりたい作品を選んでいただき思い切り表現を楽しむ
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試していろんな練習法をとってみてください。（その中に目標③もぜひ組み込んでください）
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力（30%） ●授業態度・出席率（30%） ●表現力（30%） ●期末テスト（10%）
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思います。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	兼田 めぐみ
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	火曜日1.2限
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。 ※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。 吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
【到達目標】 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アフレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する 目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考える アフレコ題材② 新たな題材でのアフレコ演習です。 前期で行っていた題材とは求められることが全く違うので、その違いをどう表現すべきかを実践しながら掘っていきます。
2回目	戦闘シーンでのスピーディーなコマ割りやアドリブへの対応力を養う アフレコ題材② Aパートの本番を行っています。踏まえてBパートにも入っていきます。 難しい戦闘シーンなど動きやリアクションのアドリブに向き合っていきます。
3回目	実際の収録の流れを掴み、集中力を高める アフレコ題材② 実際のアフレコ収録の流れ、テスト、ディレクション、本番、別録り、ギャ録りを行います。 長時間ブースの中で息を殺し、集中力を途切れさせない必要があるのもそういった空気を感じて現場への意識を高めます。
4回目	線画でのバクの合わせ方や読み取り方の難しさを知る アフレコ題材③ 線画でのアフレコを行います。完バケした映像とは違い、シーンを読み取る力、 台本を読み解く力がより必要となり、またボールドに正確に合わせる感覚を掴んでいきます。
5回目	バクの合わせ方のコツを掴む アフレコ題材③ 長ゼリフなどがある際のバクのつかみ方。また本番として現場の流れで収録していきます。 次週までの宿題についての説明を行います。
6回目	表現をコピーし再現する アフレコ題材④⑤ 前週に先渡しにした音声付きの映像をコピーしてきていただき、アフレコに臨んでいただきます。男女それぞれに違った課題があるので、それぞれの与えられた役に集中してプロの技を盗むことにより、表現の引き出す方法、音と向き合う方法を知っていく。
7回目	コピーと表現により自分の可能性を広げていく アフレコ題材④⑤ また違った役について研究し、コピーしてより音や表現の幅を増やしていきます。
8回目	繊細な表現をつかむ アフレコ題材⑥ 非常に繊細な感情が求められる作品に入っていきます。 心を大きく動かしながらもバクに合わせる難しさを体感していきます。一つ一つの音の繊細さにもこだわっていきます
9回目	繊細な表現をつかむ① アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
10回目	繊細な表現をつかむ② アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
11回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく① アフレコ題材⑥ Bパートに入っていきます、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
12回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく② アフレコ題材⑥ Bパートに入っていきます、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
13回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ① アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居することが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
14回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ② アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居することが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
15回目	後期試験 アフレコ授業の集大成としての試験を行い、今後の進路相談などもおこなっていきます。
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているんな練習法をとってみてください。（その中に目標③もぜひ組み込んでください）
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力（30％） ●授業態度・出席率（30％） ●表現力（30％） ●期末テスト（10％）
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思います。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日・2限
【授業の学習内容】							

発声の理解を深め、歌唱の実力を高める。基礎力の持続定着。音域の開発。読譜力の向上。

【到達目標】

1年次の基礎力の安定と発展。楽譜を見ながら、正しい音程、リズム、テンポで歌う。

授業計画・内容

- 1回目 ・基礎力の必要性の再確認。2年授業の説明、諸注意など。1年次の復習。（基本姿勢、腹式呼吸、支え、喉の開放）
- 2回目 ・読譜練習、短フレーズでの初見練習
- 3回目 ・鍵盤を使用した発声練習方法。発声練習の音階説明。
キーボードを用いて、一人一人のレベルに応じて行う。音程の一つ一つを自分で認識しながら行う。
- 4回目 ・リズムに左右されず正しい音程で歌う。発声。リズムをたたきながら、音階を歌う。（見譜、暗譜）
- 5回目 ・歌唱へつなく為の活舌強化。活舌練習、母音の安定化、子音の安定化。
- 6回目 ・声の安定化、順次進行の強化。声区により声質が変わらないよう意識しながら、響き、支えを高めていき、声のバランスを安定させる
- 7回目 ・発声から曲へのつながりを理解する。発声を用いて体の支えや、体の使い方を一人ずつ確認。発声から曲への移行で同じ事を一人ずつ確認。
- 8回目 ・発声、ユニットライブ①各グループごとで選曲、タイムテーブル作成など一連の流れを経験しライブを行う。
聴き手もアドヴァイスを提出。後期に行う単独ライブを行う前段階として。
- 9回目 ・発声、ユニットライブ②
- 10回目 ・発声、ユニットライブ③
- 11回目 読譜力の強化、複雑なリズムの反復練習。アーティスト曲の読譜、リズムの徹底化。
- 12回目 前期試験①
- 13回目 前期試験②

14回目

15回目

発声練習、体力作り、

準備学習
時間外学習

評価方法

出席日数、授業態度、試験

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

受講生への
メッセージ

1年次での基礎を踏まえてさらに基礎強化をしていきます。実践、応用を交えながら歌唱力、表現力の向上をめざします。日々のトレーニングの継続が必須です。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日・2限
【授業の学習内容】							

発声の理解を深め、歌唱の実力を高める。基礎力の持続定着。音域の開発。読譜力の向上。

【到達目標】

1年次の基礎力の安定と発展。楽譜を見ながら、正しい音程、リズム、テンポで歌う。

授業計画・内容

- 1回目 ・基礎力の必要性の再確認。2年授業の説明、諸注意など。1年次の復習。（基本姿勢、腹式呼吸、支え、喉の開放）
- 2回目 ・読譜練習、短フレーズでの初見練習
- 3回目 ・鍵盤を使用した発声練習方法。発声練習の音階説明。
キーボードを用いて、一人一人のレベルに応じて行う。音程の一つ一つを自分で認識しながら行う。
- 4回目 ・リズムに左右されず正しい音程で歌う。発声。リズムをたたきながら、音階を歌う。（見譜、暗譜）
- 5回目 ・歌唱へつなく為の活舌強化。活舌練習、母音の安定化、子音の安定化。
- 6回目 ・声の安定化、順次進行の強化。声区により声質が変わらないよう意識しながら、響き、支えを高めていき、声のバランスを安定させる
- 7回目 ・発声から曲へのつながりを理解する。発声を用いて体の支えや、体の使い方を一人ずつ確認。発声から曲への移行で同じ事を一人ずつ確認。
- 8回目 ・発声、ユニットライブ①各グループごとで選曲、タイムテーブル作成など一連の流れを経験しライブを行う。
聴き手もアドヴァイスを提出。後期に行う単独ライブを行う前段階として。
- 9回目 ・発声、ユニットライブ②
- 10回目 ・発声、ユニットライブ③
- 11回目 読譜力の強化、複雑なリズムの反復練習。アーティスト曲の読譜、リズムの徹底化。
- 12回目 後期試験①
- 13回目 後期試験②

14回目

15回目

発声練習、体力作り、

準備学習
時間外学習

評価方法

出席日数、授業態度、試験

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

受講生への
メッセージ

1年次での基礎を踏まえてさらに基礎強化をしていきます。実践、応用を交えながら歌唱力、表現力の向上をめざします。日々のトレーニングの継続が必須です。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ソルフェージュA・B	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	金曜日・1,2限
【授業の学習内容】							

楽譜から正確なリズム、明確な音程を読み取る技術の育成を目指し、リズム打ちや視唱、メロディの聴音を行う。
視唱やリズム打ちではアンサンブルを取り入れ、自分個々だけではなく周りの音も聴く姿勢を養う。
読譜能力や表現能力の基礎を養う

【到達目標】

リズム、音程、テンポの正確な歌唱、視唱
聴音基礎力、読譜力、視唱力を身につける
読譜能力や表現能力の基礎、音楽基礎力を身につける

授業計画・内容

- 1回目 【リズム】 3, 4拍子の確認、リズム打ち、記譜方法 【メロディー】 3音の高低判断、CからEの順次進行
- 2回目 【リズム】 八拍音付リズム 【メロディー】 五線上でCからEの書き取り 【音程】 全音半音、度数
- 3回目 【リズム】 復習 【メロディー】 休符を含む書き取り 【音程】 全音半音、度数
- 4回目 【リズム】 復習、16分音符リズム打ち 【メロディー】 復習、暗譜 【音程】 異名同音の理解、1, 2, 3度
- 5回目 【リズム】 復習、16分音符書き取り 【メロディー】 復習、CからEの跳躍、新曲視唱、八分音符 【音程】 1～5度
- 6回目 【リズム】 復習、四分、八分、16分、四分休符 【メロディー】 復習、CからE、新曲視唱 【音程】 復習 1～5度
- 7回目 【リズム】 復習、八分休符、四分休符 【メロディー】 復習、CからFの順次進行、新曲視唱 【音程】 復習 1～5度、8度
- 8回目 【リズム】 復習、八分+16分音符 【メロディー】 復習、CからFの順次進行、新曲視唱 【音程】 復習 1～6度、8度
- 9回目 【リズム】 復習、16分音符+八分音符 【メロディー】 復習、CからGの順次進行、新曲視唱 【音程】 復習 1～6度、8度
- 10回目 【リズム】 総復習 【メロディー】 総復習 【音程】 総復習 音程まとめ
- 11回目 テスト対策 【リズム】 前期に学んだりリズム全て 【メロディー】 CからGまでの跳躍 【音程】 1～6度、8度
- 12回目 テスト実施 【リズム】 前期に学んだりリズム全て 【メロディー】 CからGまでの跳躍 【音程】 1～6度、8度
- 13回目 テスト返却 復習、自己レベル、苦手箇所の振り返り

14回目

15回目

自己復習

準備学習
時間外学習

評価方法	試験80%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
	出席率、授業態度20%	

受講生へのメッセージ 聴音、視唱、新曲視唱は繰り返し、積み重ねのトレーニングです
根気よくやっていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad
筆記用具（鉛筆が好ましい）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ソルフェージュA・B	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	金曜日・1,2限
【授業の学習内容】							

楽譜から正確なリズム、明確な音程を読み取る技術の育成を目指し、リズム打ちや視唱、メロディの聴音を行う。
視唱やリズム打ちではアンサンブルを取り入れ、自分個々だけではなく周りの音も聴く姿勢を養う。
読譜能力や表現能力の基礎を養う

【到達目標】

リズム、音程、テンポの正確な歌唱、視唱
聴音基礎力、読譜力、視唱力を身につける
読譜能力や表現能力の基礎、音楽基礎力を身につける

授業計画・内容

- 1回目 【リズム】 3, 4拍子の確認、リズム打ち、記譜方法 【メロディー】 3音の高低判断、CからEの順次進行
- 2回目 【リズム】 八拍音付リズム 【メロディー】 五線上でCからEの書き取り 【音程】 全音半音、度数
- 3回目 【リズム】 復習 【メロディー】 休符を含む書き取り 【音程】 全音半音、度数
- 4回目 【リズム】 復習、16分音符リズム打ち 【メロディー】 復習、暗譜 【音程】 異名同音の理解、1, 2, 3度
- 5回目 【リズム】 復習、16分音符書き取り 【メロディー】 復習、CからEの跳躍、新曲視唱、八分音符 【音程】 1～5度
- 6回目 【リズム】 復習、四分、八分、16分、四分休符 【メロディー】 復習、CからE、新曲視唱 【音程】 復習 1～5度
- 7回目 【リズム】 復習、八分休符、四分休符 【メロディー】 復習、CからFの順次進行、新曲視唱 【音程】 復習 1～5度、8度
- 8回目 【リズム】 復習、八分+16分音符 【メロディー】 復習、CからFの順次進行、新曲視唱 【音程】 復習 1～6度、8度
- 9回目 【リズム】 復習、16分音符+八分音符 【メロディー】 復習、CからGの順次進行、新曲視唱 【音程】 復習 1～6度、8度
- 10回目 【リズム】 総復習 【メロディー】 総復習 【音程】 総復習 音程まとめ
- 11回目 テスト対策 【リズム】 後期に学んだりリズム全て 【メロディー】 CからGまでの跳躍 【音程】 1～6度、8度
- 12回目 テスト実施 【リズム】 後期に学んだりリズム全て 【メロディー】 CからGまでの跳躍 【音程】 1～6度、8度
- 13回目 テスト返却 復習、自己レベル、苦手箇所の振り返り

14回目

15回目

自己復習

準備学習
時間外学習

評価方法	試験80%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
	出席率、授業態度20%	

受講生へのメッセージ 聴音、視唱、新曲視唱は繰り返し、積み重ねのトレーニングです
根気よくやっていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad
筆記用具（鉛筆が好ましい）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	寺澤由依
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
専攻	全専攻					曜日・時限	月曜日 1限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員:THE SOULMATICSにて15年以上に渡り全国の学校やボーカalsクール、プロダクション、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクション（歌唱指導）をおこなっている。

現在ではAi、chira、DOBERMAN INFINITYなどのバックコーラスにて全国ツアーを回る。

授業内容

外化（話すこと）、発声、歌唱指導の3つを軸に、マインド、基礎、スキルを伸ばしていく。毎週、発声が正しくできているかをチェックし、課題【到達目標】

①マインド・・・人間力を鍛え、自身の目標達成と、自身もまだ見えていない可能性を見えるようになる。②基礎・・・シンガーとしての基礎、正しいトレーニング方法を学び、自身の本当の声を見つけることができる。③スキル・・・洋楽を学び、世界基準で幅広く活躍していける人材になる。

授業計画・内容（下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

- 1回目 外化、発声、歌唱。
- 2回目 外化、発声、歌唱。
- 3回目 外化、発声、歌唱。
- 4回目 外化、発声、歌唱。
- 5回目 外化、発声、歌唱。
- 6回目 外化、発声、歌唱。
- 7回目 外化、発声、歌唱。
- 8回目 外化、発声、歌唱。
- 9回目 外化、発声、歌唱。
- 10回目 外化、発声、歌唱。
- 11回目 外化、発声、歌唱。
- 12回目 外化、発声、歌唱。
- 13回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 14回目 発表会準備
- 15回目 発表会

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（60％）	評価方法はGPA制度となります
	2. 小テスト（20％）	100～90点 S
	3. レポート（20％）	89～80点 A
	4. 課題成果（％）	79～70点 B
	5. 実地試験（％）	69～60点 C
		59点以下 F 不合格

各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	寺澤由依
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
専攻	全専攻					曜日・時限	月曜日 1限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員:THE SOULMATICSにて15年以上に渡り全国の学校やボーカalsクール、プロダクション、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクション（歌唱指導）をおこなっている。

現在ではAi、chira、DOBERMAN INFINITYなどのバックコーラスにて全国ツアーを回る。

授業内容

外化（話すこと）、発声、歌唱指導の3つを軸に、マインド、基礎、スキルを伸ばしていく。毎週、発声が正しくできているかをチェックし、課題【到達目標】

①マインド・・・人間力を鍛え、自身の目標達成と、自身もまだ見えていない可能性を見えるようになる。②基礎・・・シンガーとしての基礎、正しいトレーニング方法を学び、自身の本当の声を見つけることができる。③スキル・・・洋楽を学び、世界基準で幅広く活躍していける人材になる。

授業計画・内容（下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

- 1回目 外化、発声、歌唱。
- 2回目 外化、発声、歌唱。
- 3回目 外化、発声、歌唱。
- 4回目 外化、発声、歌唱。
- 5回目 外化、発声、歌唱。
- 6回目 外化、発声、歌唱。
- 7回目 外化、発声、歌唱。
- 8回目 外化、発声、歌唱。
- 9回目 外化、発声、歌唱。
- 10回目 外化、発声、歌唱。
- 11回目 外化、発声、歌唱。
- 12回目 外化、発声、歌唱。
- 13回目 外化、発声チェック、課題曲歌唱。
- 14回目 発表会準備
- 15回目 発表会

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（60％）	評価方法はGPA制度となります
	2. 小テスト（20％）	100～90点 S
	3. レポート（20％）	89～80点 A
	4. 課題成果（％）	79～70点 B
	5. 実地試験（％）	69～60点 C
		59点以下 F 不合格

各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス プロジェクト	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	松本 恵
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
専攻	全専攻					曜日・時限	木 曜日 4、5 限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員：セントラル・ミュージックエンタテインメント株式会社の代表取締役であり、作曲家・ピアニスト・シンガーとしても活躍している音楽家。「Peace & Music ～音楽制作秘話と共に～」というライブイベントを開催し、自身が手がけたテレビ番組や映画の音楽を担当している。

授業内容：音楽業界で活動していくために必要なスキル、コミュニケーション力、具体的な用語、役割など基礎的な知識を習得するために実際の仕事のやり取りを提示して、問題点や自分ならどうするかといった具体的な解決法を探る"

【到達目標】

音楽の専門学校を卒業していくにあたり 必要な知識、また、社会に出てでも通用する 自己プロデュース能力や社会に適応したノウハウを実践・体感しつつ習得し現場での対応力を身につける

授業計画・内容 （下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

1回目 自己紹介&カウンセリング （対面と書面にて） 実践1 5/8 のリズムでコーラスワーク

2回目	自己アピール用の提出物作成
3回目	各自の今期の目標設定
4回目	音楽教師・インストラクターについて 参考例
5回目	ディレクターの役割
6回目	プロデューサーの役割
7回目	レコーディングエンジニアの役割
8回目	レコーディングエンジニアの役割
9回目	作曲から形になるまで
10回目	アレンジについて
11回目	案件 実践1
12回目	楽譜作成・ライブラリアンの役割1 ドラム譜 ト音記号へ音記号 ソプラノ記号 弦楽器の表記 等々
13回目	自分の曲または好きな曲のレコーディング用のマスターリズム または 楽譜の作成
14回目	バンド演奏時の機材セッティング 準備について
15回目	テスト
	プリント用意

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（10％）	評価方法はGPA制度となります	各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。
	2. 小テスト（10％）	100～90点 S	
	3. レポート（30％）	89～80点 A	
	4. 課題成果（30％）	79～70点 B	
	5. 実地試験（20％）	69～60点 C 59点以下 F 不合格	

受講生へのメッセージ
不安、苦手なものは、習得できるように、個々にそぐした意味のある課題をだすので、意欲的に取り組んでいただきたいです。また実践重視で、実際の現場で起こっていることを課題に取り上げていきます。実際に役にたつ情報や知識をどんどん吸収して、一緒に高めていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
2026年度 前期 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス プロジェクト	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	松本 恵
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分 曜日・時限	後期 木 曜日 4、5 限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実務経験のある教員：セントラル・ミュージックエンタテインメント株式会社の代表取締役であり、作曲家・ピアニスト・シンガーとしても活躍している音楽家。「Peace & Music ～音楽制作秘話と共に～」というライブイベントを開催し、自身が手がけたテレビ番組や映画の音楽を担当している。

授業内容：音楽業界で活動していくために必要なスキル、コミュニケーション力、具体的な用語、役割など基礎的な知識を習得するために実際の仕事のやり取りを提示して、問題点や自分ならどうするかといった具体的な解決法を探る"

【到達目標】

音楽の専門学校を卒業していくにあたり 必要な知識、また、社会に出て通用する 自己プロデュース能力や社会に適応したノウハウを実践・体感しつつ習得し現場での対応力を身につける

授業計画・内容 （下記の回数を前期の予定授業時間数に割り振り、各回2時間か3時間程度あてる。）

- 1回目 カウンセリング1（自己アピールできる楽曲の提出 ）
- 2回目 カウンセリング2（今現在の問題点について） 実技好きな楽曲の構成をする
- 3回目 プロデュース例1（女性シンガーで作詞はできる飲み人のプロデュース行程をシュミレーションする、 実技 耳コピ① キーの把握 調合の付け方を習得する
- 4回目 プロデュース1の予算を決める 実技 しゃろうの様なループ音源の制作
- 5回目 プロデュース1の質問内容を決める 実技 弦アレンジと転調、テンションについての課題をここにあわせて
- 6回目 プロデュース1の工程表を作る 実技 制作① ミュージック・アワードで注目された楽曲の分析
- 7回目 領収書、契約書、請求書の書き方と送付状の書き方 制作② 上記提出の回答をディスカッションする
- 8回目 耳コピ② 楽譜に概要を記す（サイズのわかるもの） ベース音を摂る 実技 制作② コンセプトを決める
- 9回目 耳コピ③ コードを採る 決めについて リズムワークの基礎 参考楽曲 rose 赤崎鈴 等 実技 楽曲制作 1ヶ月かけて制作
- 10回目 耳コピ③ 形にする（楽譜、プログラミング） 実技 楽曲制作 1ヶ月かけて制作
- 11回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ 実技 できた人から、サブスクに上げるための動画制
- 12回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ 実技 提出 アップロード
- 13回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ 実技 提出 アップロードしたものの評価をみる
- 14回目 自己アピールできるものについての授業 二人ずつ
- 15回目 総評 テスト キーの把握と制作物の提出
その都度制作したプロントを配布

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験（10％）	評価方法はGPA制度となります	各授業の中でチェック項目を設けそれぞれに点数を振り分け、それを学期末に合計する事を採点方法とする。
	2. 小テスト（10％）	100～90点 S	
	3. レポート（30％）	89～80点 A	
	4. 課題成果（30％）	79～70点 B	
	5. 実地試験（20％）	69～60点 C 59点以下 F 不合格	

不安、苦手なものは、習得できるように、個々にそぐした意味のある課題をだすので、意欲的に取り組んでいただきたいです。また実践重視で、実際の現場で起こっていることを課題に取り上げていきます。実際に役にたつ情報や知識をどんどん吸収して、高めていきましょう！

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	片桐 佑季
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。 ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる 4. 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる							

授業計画・内容	
1回目	集団（クラス）づくりの理解と実践（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク：業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク：夢への一步を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返りを行う
13回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー(Business manner)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	片桐 佑季
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目を更に充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ模擬オーディションを別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるためにイベント出演など校外学習を実施する。 ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. プロフィールシート作成ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR ・ 趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野 ・ 関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機 ・ 立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	フリートーク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	相川 真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻					曜日・時限	水曜日5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アナウンスメント（告知・発表）は、あらゆる表現に通じる基礎的技術のひとつです。この授業では、様々な種類の原稿読みを通して、アナウンスメントを理解し、表現能力を高めます。 ※実務者経験：地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。							
【到達目標】 原稿読みを通して、伝える技術を高めるだけでなく、逐次アクセントや発音をチェックし、習得する。 アナウンスメントの理解と共に、自らでも原稿が書けるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	場内アナウンス① 安定した声とアクセントで原稿が読めるようになる
2回目	場内アナウンス② 複合語・数詞のアクセントに留意して原稿が読めるようになる
3回目	車内アナウンス① 並列の言葉のイントネーションに留意して原稿が読めるようになる
4回目	車内アナウンス② 重母音の発音に留意して原稿が読めるようになる
5回目	名古屋市からのお知らせ① 鼻濁音と母音無声化に留意して原稿が読めるようになる
6回目	名古屋市からのお知らせ② 長い複合語のアクセント、イントネーションに留意して原稿が読めるようになる
7回目	インフォメーション① プロミネンスの箇所に留意して原稿が読めるようになる
8回目	インフォメーション② 読み手を明確にした際の、情報発信力と主体性に留意して原稿が読めるようになる
9回目	交通情報① 読むスピードの変化に留意して原稿が読めるようになる
10回目	交通情報② 読むスピードの変化に留意して原稿が読めるようになる
11回目	天気予報① 長文の際の読むスピードに留意して原稿が読めるようになる
12回目	天気予報② 長文の際の読むスピードに留意して原稿が読めるようになる
13回目	前期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる①
14回目	前期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる②
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごす必要があります。また苦手な発音を見つけたら、集中してトレーニングするなど、日々の意識で必ず変化します。
評価方法	①定期テスト(50%) ②課題成果(40%) ③授業態度、出席率(10%)
受講生への メッセージ	個性のある読み方と、クセのある読み方は、似て非なるものです。長い間かけて身につけてしまった悪いクセは、意識的に時間をかけないと抜けません。アナウンスメントの授業では、ある時は徹底的に「素読み」したり、とことん速度を落として読んだり。その過程で自らのクセを浮かび上げらせ、改善へと導いていきます。一番の近道は『地道』です！頑張ってください！
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	フリートーク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	相川 真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	俳優/タレント専攻					曜日・時限	水曜日5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 声を使う仕事をする者にとって必要な、原稿を読むという基本を繰り返し練習することでしっかり身に着ける。 ※実務者経験：地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。 【到達目標】 発声、滑舌、アクセントなど基本に則り日本語の正しいリズムを覚える。 ニュース、CM、長尺などいろいろな原稿を読む、表現することを学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	アクセント、滑舌、外郎売りなど発声練習の再確認を行い、出来るようになる。
2回目	発声練習として外郎売り。1週目の続き。ニュース、天気概況など感情を入れない原稿が読めるようになる。
3回目	スタジオ、マイク、カフなど機材に慣れるためにも録音する。それを聞いて自分の読みが出来るようになる。よりよくするためにはどうしたらいいかを考える。また、他の人の読みを聞く耳を育てる。
4回目	CMのナレーションは20秒という限られた時間の中で商品を最大限にアピールするためにどう読むかということを考えなければならない。そのための工夫をすること。また個性を出せるかを出来るようになる。
5回目	4週目に引き続き、よりよいCMにするために考えて読めるようになる。
6回目	少しでも実際の現場の雰囲気味わうために、BGMに乗せて録音をする。そして録ったもののチェック。
7回目	CMのナレーションは1種類だけではない。商品や書き手の意図、どう伝えてほしいかというところを短い時間の中で汲み取り、その表現が出来るようになる。
8回目	7週目の続き。自分なりにいろいろ工夫して読めるようになる。
9回目	少しでも実際の現場の雰囲気味わうために、BGMに乗せて録音をする。そして録ったもののチェック。
10回目	ニュース、CMに限らず詩や物語などいろいろな種類の原稿を読めるようになる。
11回目	基本は忘れず、常に自分なりの読み、表現を探る。
12回目	ここまで学習したことを思い出しながら、一音一音を大事にしっかり発音するよう心掛けて読めるようになる。聞き手にしっかり伝えられる表現者になるように自分の読みを把握し、さらに修正し、より良くしていく。
13回目	後期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる①
14回目	後期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる②
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	授業開始前に外郎売りで発声練習をしておくこと。 わからないアクセントは辞書を使って調べておくこと。
評価方法	①出席率(40%) ②課題成果(40%) ③試験(20%)
受講生への メッセージ	基礎は繰り返し練習で楽しくないかもしれませんが大事です。 長く喋りの仕事をしていけるように、きちんと身に着けてほしいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 ＊実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演(2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパートリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度 (40%) 2. 実地試験 (60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	声優&アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日3.4限
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 ＊実務経験(Dance & Vocal)：WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演(2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度 (40%) 2. 実地試験 (60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ライブパフォーマンスⅢ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分
コース	声優アーティスト専攻			(単位)		曜日・時限

【授業の学習内容】

歌って踊れる声優アーティストとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。
 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。
 ＊実務経験(Dance & Vocal)：WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り
 2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B／ソウル トップアルバム・日本・6位)
 2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催
 2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B／ソウル トップアルバム・日本1位)
 2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B／ソウル トップソング・日本2位)
 2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演
 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカ/キル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容		
1回目	個人目標設定を行う	
2回目	ボディマップを正確に理解する	
3回目	筋感覚を意識することで包括的認識力を知る	
4回目	歌唱時の正しい口の形を知る	
5回目	正しい口の形を意識した歌唱が出来る	
6回目	振り付けに合わせて、正しい口の形を意識した歌唱が出来る	
7回目	歌唱前のストレッチから正しい体の使い方のアプローチ方法を知る。	
8回目	AO関節のバランスを取れるようになる(首の無駄な緊張をなくす)	
9回目	腰椎と胸郭のバランス、股関節のバランスを理解する	
10回目	ブレスとリズムの関係性を知る	
11回目	振り付け、構成付き歌唱パフォーマンスを行うことができる	
12回目	試験	
13回目	試験総括（改善点を知る）	
14回目		
15回目		
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること ・踊りやすい服装でスニーカーを持ってくる ・一つ前の授業で行った振りを次の授業で踊れるように復習しておく事	
評価方法	・課題成果「出席・授業態度」：40%・実技試験：60%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう！	

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

[illegible]



名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ライブパフォーマンスⅢ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分
コース	声優アーティスト専攻			(単位)		曜日・時限

【授業の学習内容】

歌って踊れる声優アーティストとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。
 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。
 ＊実務経験(Dance & Vocal)：WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り
 2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B／ソウル トップアルバム・日本・6位)
 2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催
 2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B／ソウル トップアルバム・日本1位)
 2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B／ソウル トップソング・日本2位)
 2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演
 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカ/キル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り
2回目	ボディマップを正確に理解する
3回目	筋感覚を意識することで包括的認識力を知る
4回目	歌唱時の正しい口の形を知る
5回目	正しい口の形を意識した歌唱が出来る
6回目	振り付けに合わせて、正しい口の形を意識した歌唱が出来る
7回目	歌唱前のストレッチから正しい体の使い方のアプローチ方法を知る。
8回目	AO関節のバランスを取れるようになる(首の無駄な緊張をなくす)
9回目	腰椎と胸郭のバランス、股関節のバランスを理解する
10回目	ブレスとリズムの関係性を知る
11回目	振り付け、構成付き歌唱パフォーマンスを行うことができる
12回目	試験
13回目	試験総括（改善点を知る）
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること ・踊りやすい服装でスニーカーを持ってくる ・一つ前の授業で行った振りを次の授業で踊れるように復習しておく事
評価方法	・課題成果「出席・授業態度」：40%・実技試験：60% 評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないこらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

KYO-HEY
後期
木曜日5.6限

レスキル、ダンスス

とがあります。それ



名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	演技ファンダメンタルA・B	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	北岡亮輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻、声優&アーティスト専攻					曜日・時限	土曜日・3.4限

【授業の学習内容】

毎回基本的なウォーミングアップから始める。都度、演技力を高める訓練をし、演劇作りを通して基礎力と適応能力を養う。学期末に総合的なまとめ（課題発表など）を行います。

【到達目標】

演技者としての根本的な演技力、表現力、協調性を養う。

授業計画・内容

- 1回目 他己紹介を行い、演じる感覚を知ってもらいます
- 2回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。①
- 3回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。②
- 4回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。③
- 5回目 シアターゲームを通して、演技感覚と表現力を延ばす。④
- 6回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく①
- 7回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく②
- 8回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく③
- 9回目 簡単なテキストを用いてグループワークでシーンを作っていく④
- 10回目 学期末制作①
- 11回目 学期末制作②
- 12回目 学期末制作③（リハーサル週）
- 13回目 学期末制作④（本番週）

14回目

15回目

毎回の課題に応じて、事前に読み込みや反復練習（自主練習）を行ってください。

準備学習
時間外学習

評価方法 授業内評価

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

状況に応じて成果発表などを行い、毎回の授業での成長度合いも含めて評価基準とします。

受講生への
メッセージ 俳優も声優も、役を演じるという点では基本は同じです。役を演じるために必要な要素を、授業を通して0まずは知ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、動きやすい服装。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	台詞モノローグ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	北岡亮輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻					曜日・時限	土曜日・5限
【授業の学習内容】							

紙媒体のテキストを用いて、朗読やセリフなど、様々な声の表現を個々の個性も捉えながら実技授業という形式で進めて行く。身体と声を使った実験を通して、声のみの表現とは何かを、一年を通して追求していく。

※1995年から、声優・ナレーション業を務めてきた。2000年以降は活動の中心を舞台に集中し活動。）

【到達目標】

- ①サブテキストをよみとる
- ②様々な視点をもって物語がみられるようになる。
- ③前後の文脈を理解しつつ、登場人物の衝動からセリフ（声ことば）が出るようになる

授業計画・内容

- 1回目 まずセリフとはなにかを知る
- 2回目 ダイアログとモノローグの違い
- 3回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。①
- 4回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。②
- 5回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。③
- 6回目 ダイアログのテキストを用いてシナリオを分析する。読み合わせる。④
- 7回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う①
- 8回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う②
- 9回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う③
- 10回目 テキストの内容に沿って、最も適したセリフ表現を行う④
- 11回目 テキストを通して、ダイアログとモノローグを使い分ける①
- 12回目 テキストを通して、ダイアログとモノローグを使い分ける②
- 13回目 テキストを通して、ダイアログとモノローグを使い分ける③

14回目

15回目

事前に配布してあるテキスト集を、指定されたパートを自宅で練習・準備をしておく。練習時間は、10～40分ほど。

準備学習
時間外学習

評価方法 授業内評価

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

基本的にディスカッションをしながら読み合わせの実技につなげていくので、その都度採点を行い全体の評価とします。

受講生へのメッセージ 台本には物語があり、物語の中で生きていく登場人物たちがいます。登場人物は一人の人間です。生きてきた時間だけその人の人生があって、常に感情や考えを胸に秘めています。私たちは日常生活で会話するとk、思っていること全てを言葉に出して伝えることはありません。台本には物語の登場人物が何かを伝えたいから言葉を選んでセリフをしゃべっています。セリフとはそういうものだと思えるようになってくれればと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、テキスト

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日・1限
【授業の学習内容】							

音楽の言語ともなる音楽的理論について解説し、問題を解いていく
専門的な学習を通して、演奏や創作活動に結びつくよう学修する

【到達目標】

音楽に関する基礎的なルール、楽語を理解する
音楽理論を学ぶ必要性と目的を理解する

授業計画・内容

- 1回目 【音名を知る】鍵盤と音名を一致させ、各楽器の音域を知る
- 2回目 【音符、休符】音符休符の表記法、長さ、連符
- 3回目 【拍子記号】拍子記号の意味、小節線、拍子の種類、タイ、シンコペーション
- 4回目 【反復記号】反復記号の種類、反復記号の楽譜読み
- 5回目 【確認テスト】前半の理解度確認、復習テスト
- 6回目 【メジャースケール①】メジャースケールの仕組み、＃系のメジャースケール
- 7回目 【メジャースケール②】♭系のメジャースケール
- 8回目 【五度圏、調号】五度圏の活用方法、調号のしくみ
- 9回目 【記譜法、臨時記号】正しい楽譜表記法、臨時記号の効力、調号との違い
- 10回目 【テンポ、強弱記号】速度記号、速度標語、強弱記号
- 11回目 【期末テスト予習】後半の総復習
- 12回目 【期末テスト】前期授業で学習した内容から出題
- 13回目 【期末テスト返却】確認、前期の再復習

14回目

15回目

授業後の復習

準備学習
時間外学習

評価方法	試験80% 出席率、授業態度20%	評価方法はGPA制度となります	
		100～90点	S
		89～80点	A
		79～70点	B
		69～60点	C
		59点以下	F 不合格

受講生へのメッセージ 音楽理論は音楽の基礎となり、積み重ねの学習が必要です
まずは内容を理解し、実践でスムーズに活用できるよう用語などは覚えていきましょう

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	岡田ゆき
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日・1限
【授業の学習内容】							

音楽の言語ともなる音楽的理論について解説し、問題を解いていく
専門的な学習を通して、演奏や創作活動に結びつくよう学修する

【到達目標】

音楽に関する基礎的なルール、楽語を理解する
音楽理論を学ぶ必要性と目的を理解する

授業計画・内容

- 1回目 【音名を知る】鍵盤と音名を一致させ、各楽器の音域を知る
- 2回目 【音符、休符】音符休符の表記法、長さ、連符
- 3回目 【拍子記号】拍子記号の意味、小節線、拍子の種類、タイ、シンコペーション
- 4回目 【反復記号】反復記号の種類、反復記号の楽譜読み
- 5回目 【確認テスト】前半の理解度確認、復習テスト
- 6回目 【メジャースケール①】メジャースケールの仕組み、＃系のメジャースケール
- 7回目 【メジャースケール②】♭系のメジャースケール
- 8回目 【五度圏、調号】五度圏の活用方法、調号のしくみ
- 9回目 【記譜法、臨時記号】正しい楽譜表記法、臨時記号の効力、調号との違い
- 10回目 【テンポ、強弱記号】速度記号、速度標語、強弱記号
- 11回目 【期末テスト予習】後半の総復習
- 12回目 【期末テスト】前期授業で学習した内容から出題
- 13回目 【期末テスト返却】確認、1年間の総復習

14回目

15回目

授業後の復習

準備学習
時間外学習

評価方法	試験80% 出席率、授業態度20%	評価方法はGPA制度となります	
		100～90点	S
		89～80点	A
		79～70点	B
		69～60点	C
		59点以下	F 不合格

受講生へのメッセージ 音楽理論は音楽の基礎となり、積み重ねの学習が必要です
まずは内容を理解し、実践でスムーズに活用できるよう用語などは覚えていきましょう

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	進級発表 (Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	2.3	担当教員	竹田 昌広
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	金曜日3・4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。							
【到達目標】 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
11回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
12回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
13回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
14回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
15回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験 (30%) ②課題成果 (40%) ③出席率 (30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名(英)	進級発表(Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	2.3	担当教員	竹田 昌広
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	金曜日3・4限
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、`日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。							
【到達目標】 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
2回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
3回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
4回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
5回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
6回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
7回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験 (30%) ②課題成果 (40%) ③出席率 (30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization&articulation)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	山口 あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜日4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる（サブテキスト）コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／日本語の文法、その表し方（読み方）を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャストイング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ（時代背景・漢字等）。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一步一步進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization&articulation)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	山口 あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜日4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる（サブテキスト）コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／前期の振り返りを行い、今後の課題を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャストイング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ（時代背景・漢字等）。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一步一步進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization&articulation)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山口 あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜日1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる（サブテキスト）コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／日本語の文法、その表し方（読み方）を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャストイング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しができるようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しができるようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しができるようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しができるようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ（時代背景・漢字等）。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一步一步進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization&articulation)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山口 あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜日1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる（サブテキスト）コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／前期の振り返りを行い、今後の課題を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャストイング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ（時代背景・漢字等）。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一步一步進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	